株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年2月末日
中間配当金受領株主確定日	毎年8月31日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人	株式会社アイ・アールジャパン
同連絡先	株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部 〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 TEL.0120-975-960（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所第一部市場
公告方法	電子公告 当社ホームページ（http://www.ait-jp.com/）に掲載いたします。ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ご注意
1. 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（株式会社アイ・アールジャパン）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、株式会社アイ・アールジャパン 証券代行業務部でお支払いいたします。

株主優待制度に関するお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を保有していただくことを目的として、平成26年2月期より、株主優待制度を導入いたしました。

対象となる株主様	毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上を保有されている株主様を対象といたします。

ホームページのご案内

サービス情報・IR情報など、
最新の情報をご覧いただけます。

エーアイティー

http://www.ait-jp.com/

表紙の風景　中国・香港

中国の南部に位置し、特別行政区である香港は、アジアを代表する国際金融センターとして飛躍を遂げているとともに、世界中から多くの観光客が訪れる観光都市としても有名です。
立ち並ぶ高層ビルは、夜になるとライトアップされ景色が一変し、夜景の名所であるヴィクトリア・ピークからの眺めは、「東方の真珠」と称されるように格別です。

株式会社 エーアイティー

株式会社 エーアイティー

証券コード：9381

国際物流をデザインするエーアイティー

第29期 中間報告書

平成27年3月1日～平成27年8月31日

中国・香港

エーアイテイー 成長戦略

営業収益 300億円

新たな顧客層の開拓

一貫輸送体制を最大限に活かす

- 国外（中国・ASEAN）ロジスティクス
- 国際輸送（海上・航空）
- 通関業務
- 国内ロジスティクス

「取引先数」と「営業収益」の推移

直近7年間で

取引先数 **1.57倍**

営業収益 **2.19倍**

専門性の高いカテゴリーの強化

新たな強み　当社ならではの独自性　をつくる

既存顧客	アパレル・日用雑貨関係	
新規顧客	化学関連	ポリエステル（ペットボトルの原料）など
	機械（自動車部品）	フランジ／ネジ／コンプレッサー／計測器 など

1 新規部署を設立

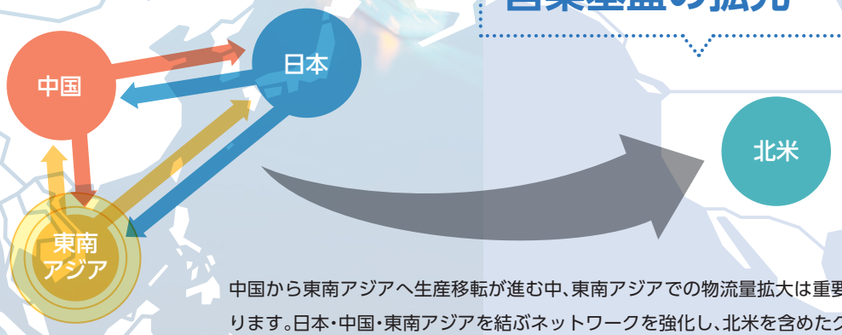
専門分野を開拓するための、戦略や企画を立案。

2 専門性の高い人材の採用・育成

- 専門知識
- 業界の常識
- 営業先

東南アジアの市場拡大

グローバル物流構築と営業基盤の拡充



中国から東南アジアへ生産移転が進む中、東南アジアでの物流量拡大は重要な事業戦略となります。日本・中国・東南アジアを結ぶネットワークを強化し、北米を含めたグローバル物流体制の構築に取り組んでまいります。

一貫輸送の提案型営業　の推進、新たな顧客層の開拓にも注力。

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第29期（平成28年２月期）第２四半期（累計）の業績についてご報告を申し上げます。

第２四半期（累計）の業績について

当第２四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策などを背景に、企業収益や雇用環境に改善がみられ、緩やかに回復基調で推移しました。その一方で、円安による物価の上昇などで個人消費の動向は依然として先行き不透明な状況が続いており、海外においても、新興国の成長鈍化や中国株式市場の大幅な下落により実体経済への影響が懸念されるなど、不安定要素を抱えながら推移することとなりました。

このような経済情勢の下、当社グループは、国際物流の提案型営業の強化に取り組み、主力となる国際貨物輸送のみならず、通関や配送、さらに、日本国内外での３PL（サードパーティー・ロジスティクス）案件を含めた一貫輸送の受注獲得に向けた営業活動を精力的に進めてまいりました。

さらに、本年５月に新たな営業部署を設置し、日用雑貨やアパレル等を主に取扱う企業中心に行ってきた営業活動を専門性を有する化学関連等にも拡げ、その成果も徐々に出始めております。

これら取り組みの中、当第２四半期連結累計期間において、新規顧客の獲得は順調に推移し、また円安による為替換算効果があった一方で、円安の進行による顧客の在庫調整等で国際貨物輸送の取扱高が減少し、さらに国際貨物輸送の市場におけるマーケットプライスの低下も重なり、収益を押し下げる要因となりました。

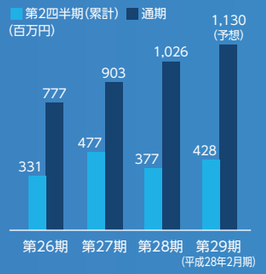
しかしながら、前連結会計年度からの仕入コストの低減効果を継続させるとともに、販売費及び一般管理費を抑制することで、安定した利益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間における営業収益は10,188百万円（前年同期比0.2％増）と前年同期とほぼ同水準となり、営業利益は661百万円（前年同期比8.8％増）、経常利益696百万円（前年同期比8.8％増）、四半期純利益428百万円（前年同期比13.5％増）と前年同期を上回る結果となりました。

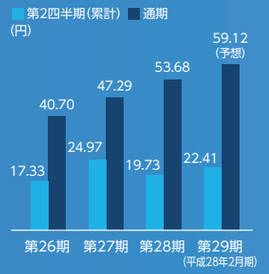
●営業収益

●経常利益

●四半期（当期）純利益



●1株当たり四半期（当期）純利益



1株当たり四半期（当期）純利益

（注）平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にて、それぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第26期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期（当期）純利益を算定しております。

●四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前期末 平成27年2月28日現在	当第2四半期末 平成27年8月31日現在
流動資産	6,423	5,868
固定資産	385	389
資産合計	6,808	6,258
流動負債	1,732	1,483
固定負債	269	281
負債合計	2,001	1,765
純資産合計	4,807	4,493
負債純資産合計	6,808	6,258

POINT 1
当第２四半期末での現金及び預金を中心とした流動資産は、資産合計の内、93.8％を占めています。

POINT 2
当第２四半期末での負債純資産合計において、自己資本比率（少数株主持分勘案後）は、71.6％と高く、引き続き財務の健全性の高い経営状態にあります。

TOPICS 1 営業部署の新設を行っています。

当社は、更なる営業基盤の強化と収益の増大を図るため、新たな営業部署の設置を行っています。
従来は、アパレルや日用雑貨を取扱う企業を中心に営業活動を行ってきましたが、新たな顧客層開拓のため、その活動を他の分野にも拡げ、専門性を有する一貫輸送の受注獲得を進めるとともに、輸出を主としたグローバル輸送の拡大に向け、精力的に取り組んでまいります。

TOPICS 2 本年度も中間配当を増配しています。

当社は、平成22年2月期より中間配当を開始し、その後、毎期中間配当を増配しています。
本年度（平成28年2月期）の中間配当は、1株当たり15円で実施させていただき、前年度の中間配当1株当たり10円と比較し、5円の増配となりました。
今後も、収益の拡大、財務体質の健全化、経営基盤の強化を図り、株主の皆様への充実した利益還元に取り組んでまいります。

（単位：円）

	平成25年2月期	平成26年2月期	平成27年2月期	平成28年2月期
中間配当	7.00	8.00	10.00	15.00
期末配当	8.00	10.00	20.00 記念配当 20.00	15.00（予想）

（注）平成25年3月1日付、平成25年11月1日付にてそれぞれ1株につき2株の割合をもって株式分割を行っています。つきましては、1株当たりの配当金は、それぞれの株式分割を過去に遡及し表示しております。

Q&A 投資家の方々から、多くいただくご質問について、お答えいたします。

Q 今後の強化地域は？

A 今後の強化重点地域として、東南アジア及び北米を挙げています。近年、中国から東南アジアへの生産拠点の一部移管“チャイナプラスワン（China plus one）”の動きが拡がっています。当社グループの主力となる日中間の国際貨物輸送に加え、ASEANを中心とした東南アジア各国との輸送量を拡大させるため、東南アジア各国と日本との輸出入のみならず、中国発東南アジアに向けた輸送サービスも拡充しております。さらに北米を主とした国・地域への輸出を重点にした顧客開拓も行い、グローバル物流構築と営業基盤の拡充をより一層図ってまいります。

株式に関する情報（平成27年8月31日現在）

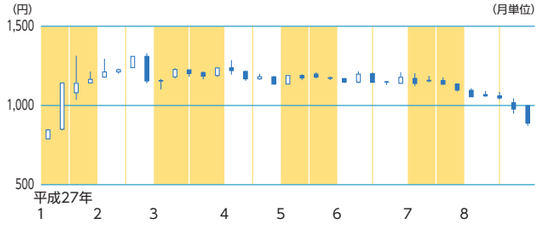
発行可能株式総数	53,856,000株
発行済株式の総数	19,754,400株
株主数	9,454名

大株主

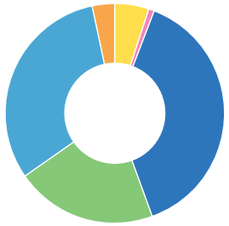
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社エイチアンドワイ	7,139,600	37.35
ビービーエイチ マシューズ ジャパン ファンド	1,130,300	5.91
馬上　真一	960,000	5.02
ビービーエイチ フィデリティ ピューリタン フィデリティ シリーズ イントリンシック オポチュニティズ ファンド	823,000	4.31
波床　知喜	509,100	2.66
矢倉　英一	496,400	2.60
ビービーエイチ グランジャー ピーク インターナショナル オポチュニティーズ ファンド	458,700	2.40
株式会社ドルフィンズ	412,000	2.16
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224	400,000	2.09
ビービーエイチ グランジャー ピーク グローバル オポチュニティーズ ファンド	341,700	1.79

（注1）上記のほか、自己株式640,768株を保有しております。
（注2）持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株価動向



所有者別株式分布状況（平成27年8月31日現在）



金融機関	5.27%
金融商品取引業者	0.81%
その他の法人	38.41%
外国法人等	20.86%
個人・その他	31.41%
自己名義株式	3.24%

会社概要（平成27年8月31日現在）

社名	株式会社エーアイテイー
英文社名	AIT CORPORATION
本社	〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目1番6号 堺筋本町センタービル15階 TEL.06-6260-3450（代表）
設立	昭和63年2月
資本金	271,140,311円
従業員数	538名（連結）、281名（単体）
事業内容	貨物利用運送事業（外航海運）、貨物利用運送事業（国際航空貨物）、航空運送代理店業、通関業、海運仲立業、損害保険代理店業、コンテナその他輸送器具の販売並びに輸出入、上記に付帯関連する一切の事業

取締役及び監査役（平成27年8月31日現在）

代表取締役社長	矢倉　英一	常勤監査役	清水　洋志
常務取締役	波床　知喜	社外監査役	寺戸　しのぶ
常務取締役	馬上　真一	社外監査役	西島　佳男
取締役	西村　司		